



Microsoft Teams Rooms プロキシ接続設定ガイド

**Smarter
technology
for all**

Lenovo

はじめに

本書について

このドキュメントは、Microsoft Teams Roomsをプリインストールした ThinkSmart デバイス上でプロキシ接続の設定を実施するための手順を説明するものです。

貴社のネットワーク環境がプロキシ設定必須である場合、本ガイドをご参照ください。

目次


- 第1章 Microsoft Teams Rooms 向け プロキシ設定手順
- 第2章 管理者アカウント向け プロキシ設定手順
- Appendix

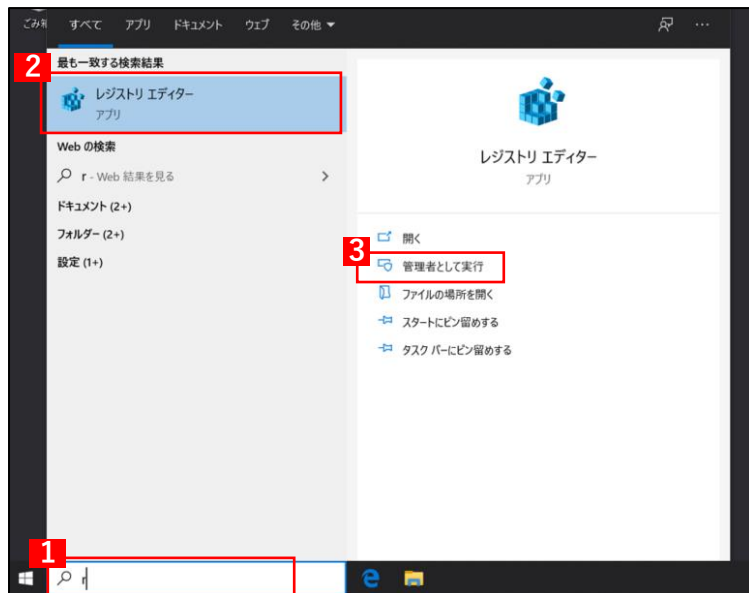
用語集

| 用語 | 本ドキュメントでの意味 |
|-----------------|---|
| ユーザー | Windowsユーザーアカウント |
| 「Skype」 | Microsoft Teams Roomsがプリインストールされている端末に出荷時点で設されているWindows ユーザーアカウント。 起動後、デバイスは自動的にこのユーザーアカウントにサインインし、Microsoft Teams Roomsが自動的に起動する。ロックダウンされているため、このユーザーアカウントの設定をデスクトップ画面を通じて直接変更することはできない。 |
| 「Administrator」 | パソコン全体を管理できる管理者アカウント。 パソコンに保存されているすべてのファイルやアプリを操作することができ、すべての設定を変更可能。 |
| レジストリ | Windowsにおいて、システムプログラムやハードウェア、ユーザプログラムなどシステム情報が格納されているデータベース |
| ハイブ | 「レジストリハイブ」の略で、レジストリキー、レジストリサブキー、およびレジストリ値を含むレジストリの主要セクションに付けられた名称 |
| MTR | Microsoft Teams Roomsの略称 |
| ThinkSmart | レノボが発売しているオンライン会議専用端末のブランド名 |

第1章 Microsoft Teams Rooms 向け プロキシ設定手順

レジストリ エディター(regedit.exe)を管理者として実行

- Windows Administratorアカウント「Administrator」でログインします。*
- デスクトップの左下の  から「レジストリ エディター」を入力して検索します。
- 「管理者として実行」をクリックします。



*Windows Administratorでログインする手順



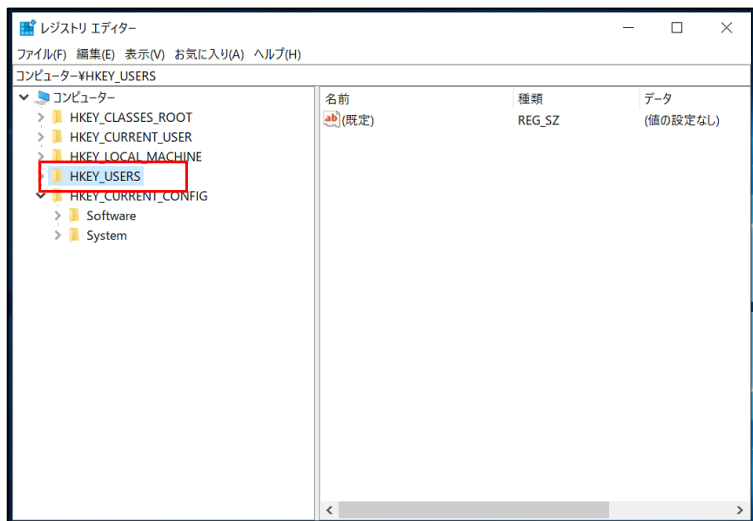
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/rooms-operations>



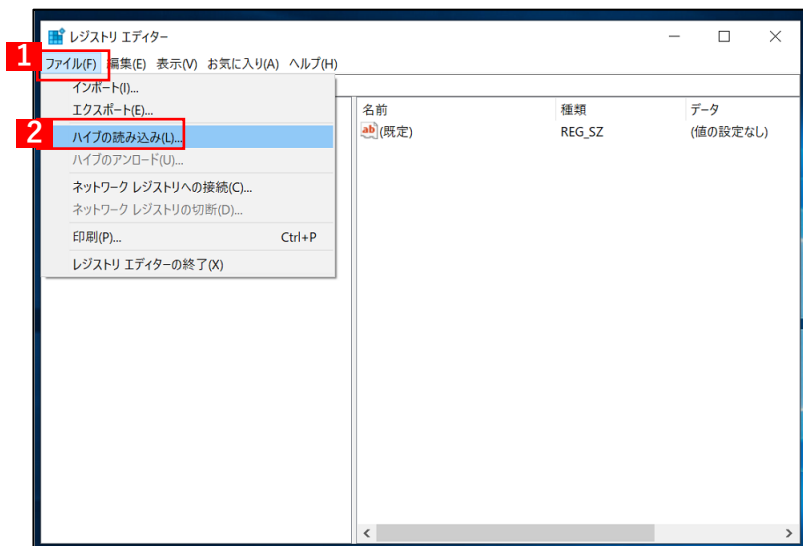
ユーザー「Skype」のハイブ（設定ファイル）を読み込む

「Administrator」がユーザー「Skype」のレジストリを変更する場合、レジストリ エディター上で「Skype」のハイブをロードする必要があります。

- レジストリ エディター内、左メニューのディレクトリ一覧から [HKEY_USERS] フォルダを選択します。

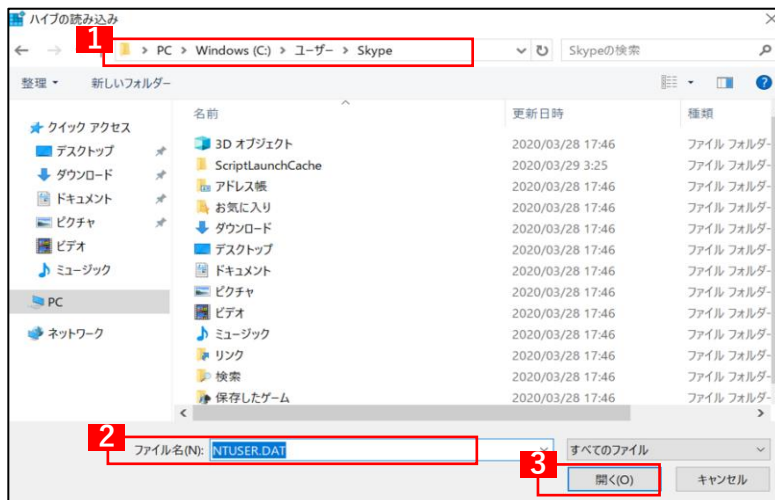


- 「ファイル」→「ハイブの読み込み」の順にクリックします。



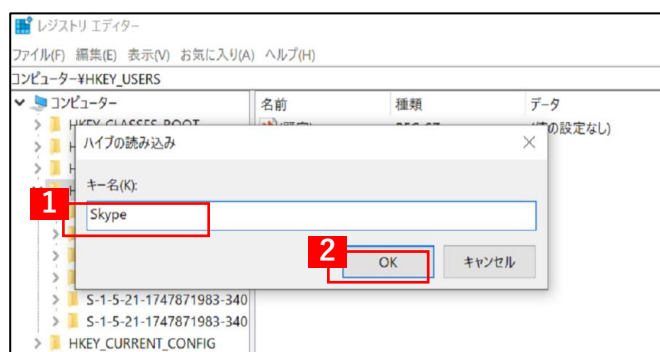
- ハイブファイルを指定します。
(C:¥Users¥Skype¥NTUSER.DAT)

- ディレクトリ「C:¥Users¥Skype」を開きます。
- 「ファイル名」欄に「NTUSER.DAT」を入力します。
- 「開く」をクリックします。



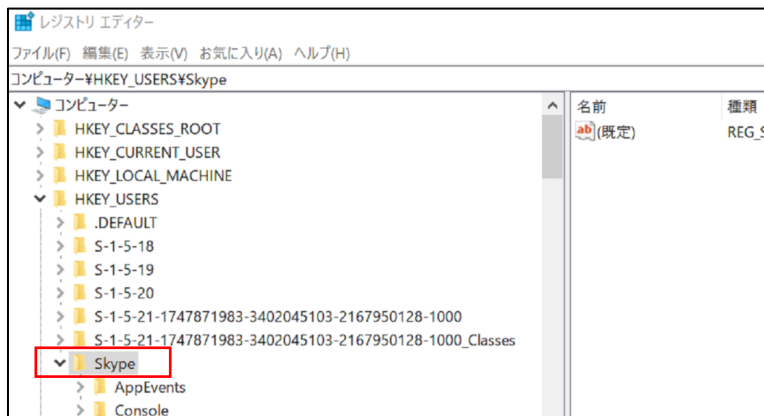
- ロード先のキー名を指定します。

- キー名「Skype」を入力します。
- 「OK」をクリックします。



- ハイブロードの完了を確認します。

1. ロードが完了したら、「HKEY_USERS」の下に「Skype」のフォルダが現れます。
2. エラーメッセージが出る場合はAppendixをご参照ください。



「Skype」のレジストリを修正してプロキシ設定

「HKEY_USERS¥Skype¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Internet Settings」の下の「MigrateProxy」、「ProxyEnable」、「AutoConfigURL」もしくは「ProxyServer」を下記の値に設定します。

スクリプトを使う場合

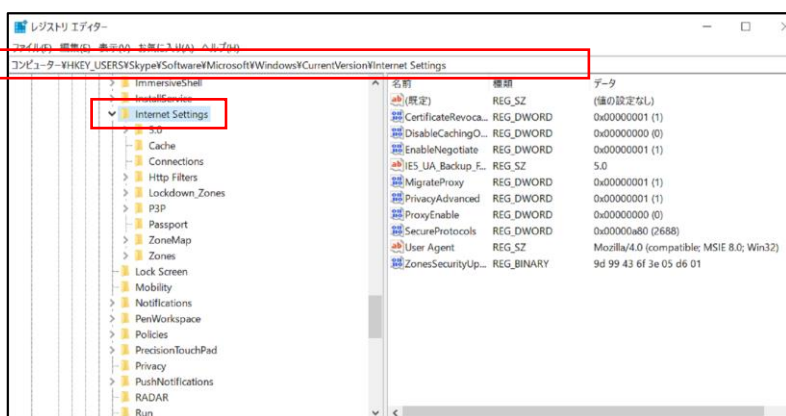
| 名前 | 値のデータ | 表記 |
|---------------|----------------------------|---------|
| MigrateProxy | 1 | 16進数(H) |
| ProxyEnable | 1 | 16進数(H) |
| AutoConfigURL | https://[お客様ドメイン]proxy.pac | NA |

IPアドレスを直接指定する場合

| 名前 | 値のデータ | 表記 |
|--------------|-------------------------------|---------|
| MigrateProxy | 1 | 16進数(H) |
| ProxyEnable | 1 | 16進数(H) |
| ProxyServer | プロキシサーバー名 (もしくはIPアドレス) とポート番号 | NA |

- 「HKEY_USERS¥Skype¥Software¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Internet Settings」を開きます。

1. Skype → Softwareを開きます。
2. Software → Microsoftを開きます。
3. Microsoft → Windowsを開きます。
4. Windows → CurrentVersionを開きます。
5. CurrentVersion > Internet Settings
を選択します。



- 「MigrateProxy」と「ProxyEnable」を確認します。

- 存在する場合は☆マークのステップに進みます。
- 存在しない場合は枠内のプロセスに従って新規作成します。



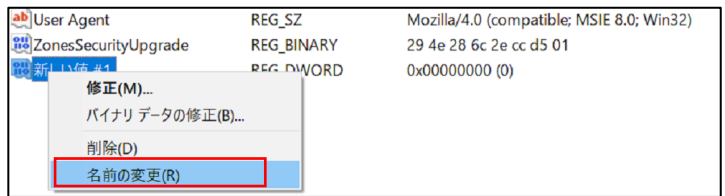
値が存在しない場合

- 「MigrateProxy」と「ProxyEnable」を新規作成します。

- 空白のところを右クリックして「新規」を選択します。
- 「DWORD (32ビット) 値 (D)」をクリックします。

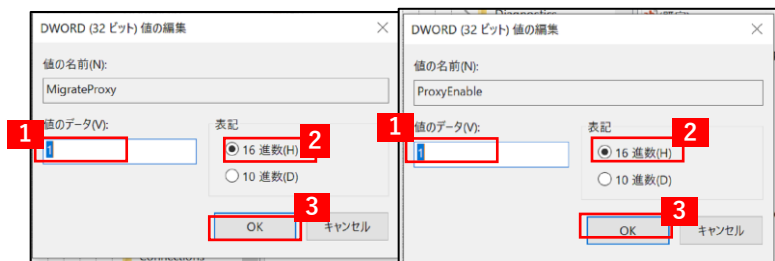


- 新規作成した「新しい値#1」と「新しい値#2」を右クリックし、それぞれの名前を「MigrateProxy」と「ProxyEnable」に変更します。



☆ 「MigrateProxy」と「ProxyEnable」をダブルクリックして以下の通りに設定し、「OK」をクリックして保存します。

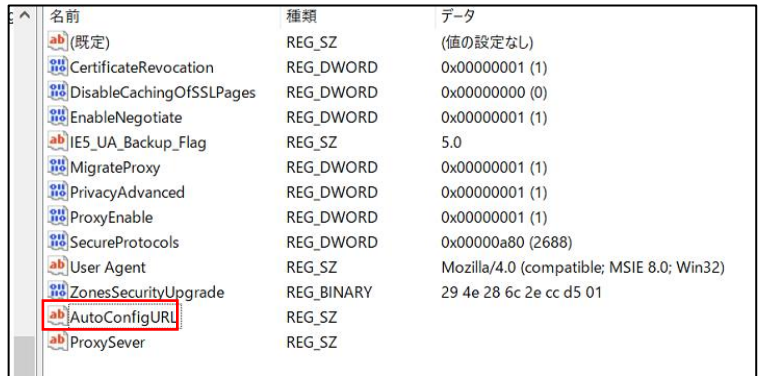
| 名前 | 値のデータ | 表記 |
|--------------|-------|----------|
| MigrateProxy | 1 | 16 進数(H) |
| ProxyEnable | 1 | 16 進数(H) |



スクリプトを使う場合は以下の枠内のプロセスに沿って設定します。
 (IPアドレスを直接指定する場合は次のページに進んでください。)

- 「AutoConfigURL」を確認します。

1. 存在する場合は ◇ ステップに進んでください。
2. 存在しない場合は枠内のプロセスに沿って新規作成してください。



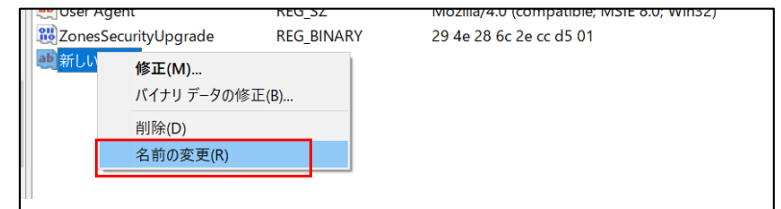
値が存在しない場合

- 「AutoConfigURL」を新規作成します。

1. 空白のところに右クリックし、「新規」を選択します。
2. 新規の下にある「文字列値 (S)」をクリックします。

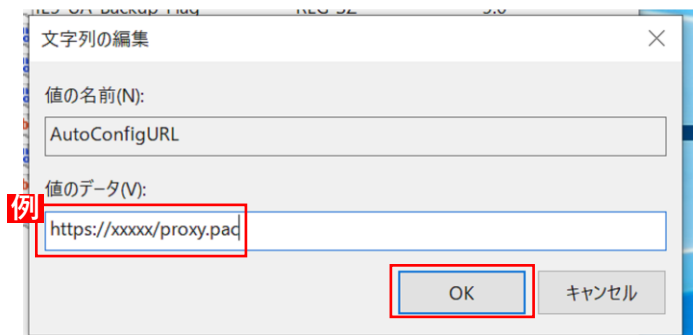


3. 「新しい値#1」を右クリックして名前を「AutoConfigURL」に変更します。



◇ 「AutoConfigURL」をダブルクリックして以下の通りに設定して保存します。

| 名前 | 値のデータ |
|---------------|----------------------------|
| AutoConfigURL | http://[お客様ドメイン]/proxy.pac |



IPアドレスを直接指定する場合は下記の枠内のプロセスに沿って設定します。
(スクリプトを使う場合は前のページをご参照ください)

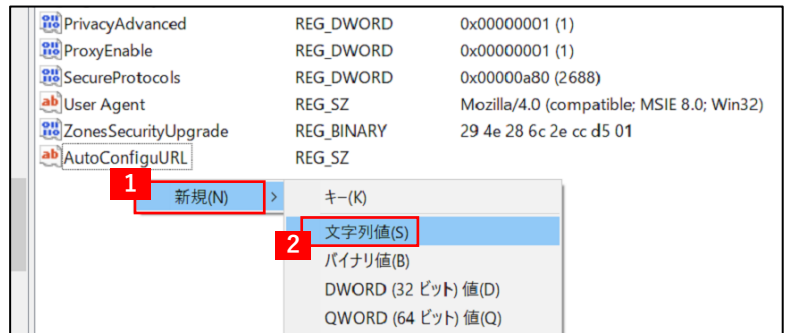
- 「ProxyServer」を確認します。
- 存在する場合は◇ステップに進んでください。
 - 存在しない場合は枠内のプロセスに沿って新規作成してください。

| 名前 | 種類 | データ |
|--------------------------|------------|---|
| (既定) | REG_SZ | (値の設定なし) |
| CertificateRevocation | REG_DWORD | 0x00000001 (1) |
| DisableCachingOfSSLPages | REG_DWORD | 0x00000000 (0) |
| EnableNegotiate | REG_DWORD | 0x00000001 (1) |
| IE5_UA_Backup_Flag | REG_SZ | 5.0 |
| MigrateProxy | REG_DWORD | 0x00000001 (1) |
| PrivacyAdvanced | REG_DWORD | 0x00000001 (1) |
| ProxyEnable | REG_DWORD | 0x00000001 (1) |
| SecureProtocols | REG_DWORD | 0x00000a80 (2688) |
| User Agent | REG_SZ | Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 8.0; Win32) |
| ZonesSecurityUpgrade | REG_BINARY | 29 4e 28 6c 2e cc d5 01 |
| AutoConfigURL | REG_SZ | |
| ProxyServer | REG_SZ | |

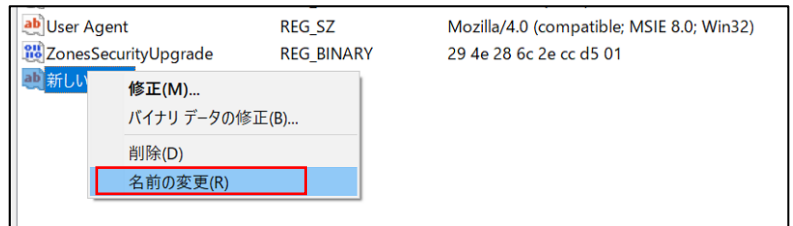
値が存在しない場合

- 「ProxyServer」を新規作成します。

- 空白のところに右クリックし、「新規」を選択します。
- 新規の下にある「文字列値 (S)」をクリックします。

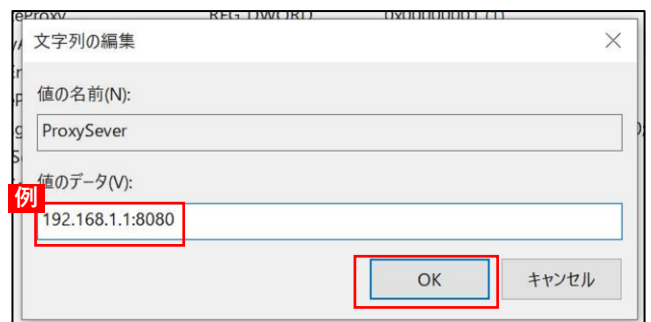


- 「新しい値#1」を右クリックして名前を[ProxyServer]に変更します。



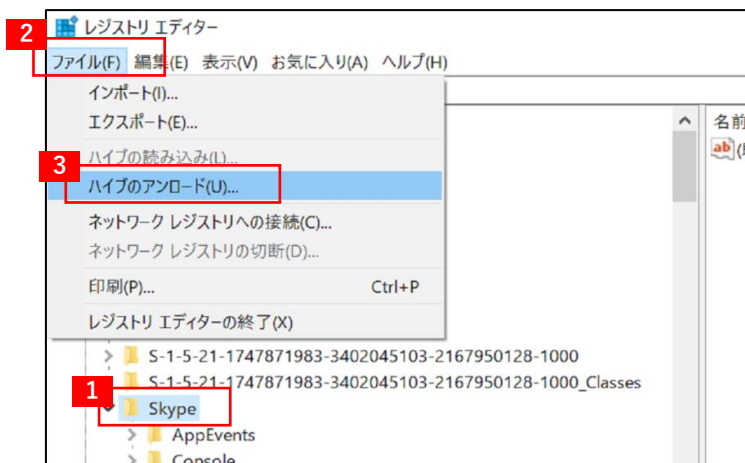
- ◇ [ProxyServer] をダブルクリックして以下の通りに設定して保存します。

| 名前 | 値のデータ |
|-------------|-------------------------------|
| ProxyServer | プロキシサーバー名 (もしくはIPアドレス) とポート番号 |

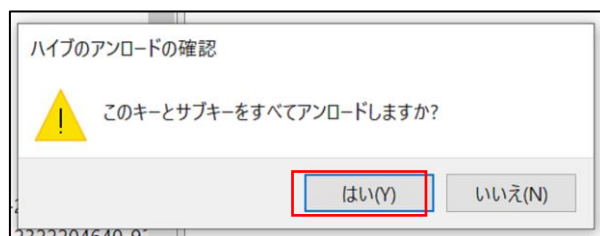


「Skype」 ユーザーアカウント上の設定の保存

- ロードしたハイブ「Skype」のディレクトリを選択します。
- 「ファイル」 → 「ハイブのアンロード」を選択します。



- 「はい」をクリックします。



以上で、Microsoft Teams Rooms 向けのプロキシ接続設定は完了となります。

第2章 管理者アカウント向け プロキシ設定手順

「Windowsの設定」でプロキシを設定

[スタート] → [設定] → [ネットワークとインターネット] → [プロキシ]から以下の通りに設定します。

スクリプトを使う場合

| 設定項目名 | 設定値 |
|----------------|----------------------------|
| セットアップスクリプトを使う | オン |
| スクリプトのアドレス | http://[お客様ドメイン]/proxy.pac |

IPアドレスを直接指定する場合

| 設定項目名 | 設定値 |
|-------------|-----------------------------|
| プロキシサーバーを使う | オン |
| アドレス | プロキシサーバー名（もしくはIPアドレス）とポート番号 |

- [スタート] → [設定]の順に押します。

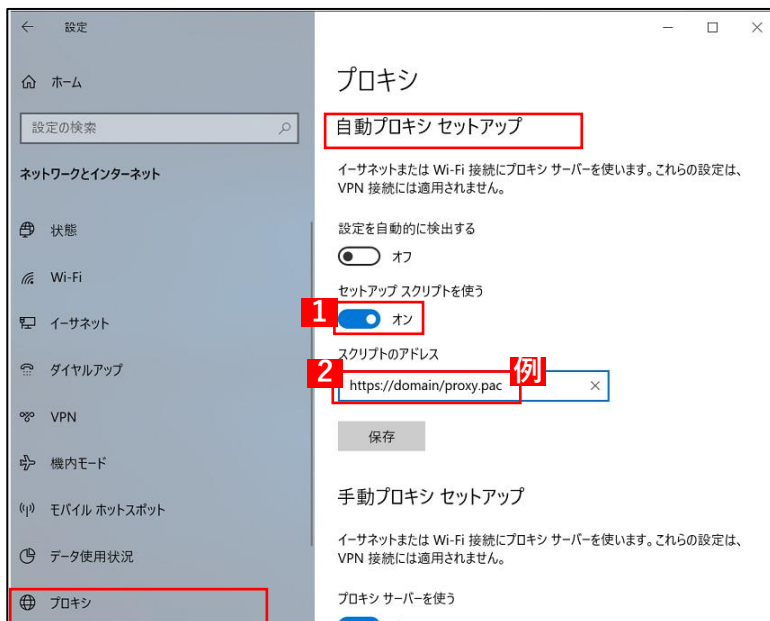


- [ネットワークとインターネット]を押します。



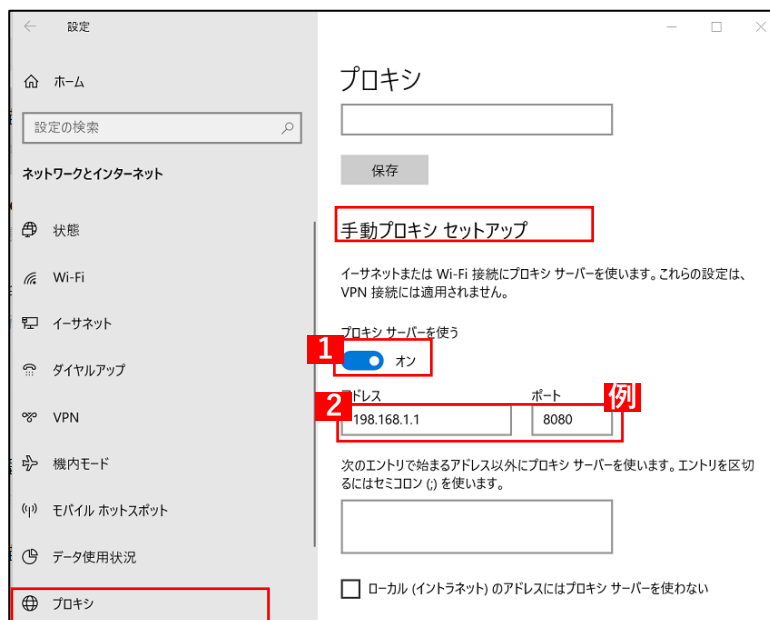
- スクリプトを使う場合

1. [プロキシ] → [自動プロキシ セットアップ]の順にクリックし、[セットアップスクリプトを使う]を[オン]に設定します。
2. [スクリプトのアドレス]を入力します。
例：http://[お客様ドメイン]/proxy.pac



- IPアドレスを直接指定する場合

1. [プロキシ] → [手動プロキシ セットアップ]の順にクリックし、[プロキシサーバーを使う]を[オン]に設定します。
2. [アドレス]と[ポート]を入力します。



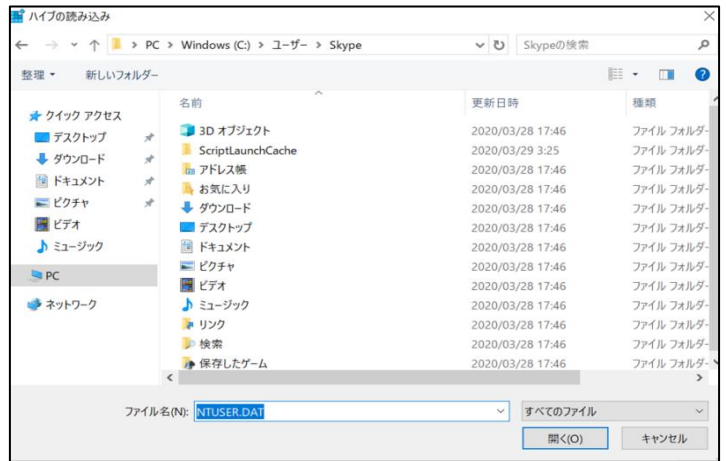
以上で、Administrator ユーザーアカウント向けのプロキシ設定は完了となります。

Appendix

ユーザー「Skype」ハイブロード中エラーが出た場合

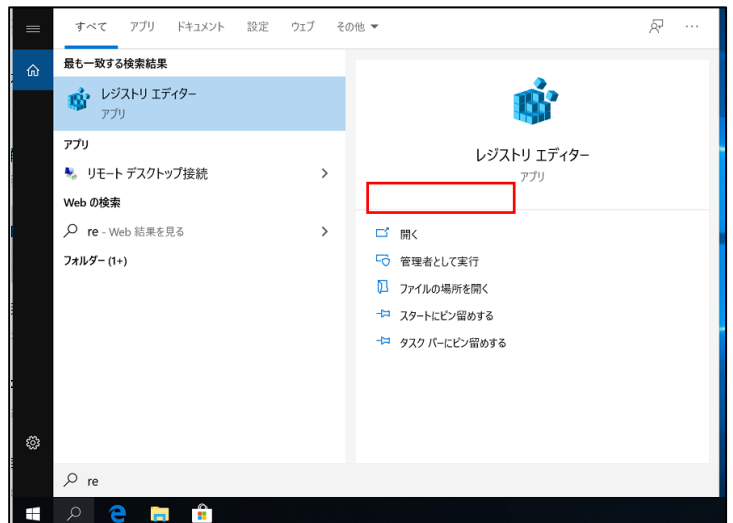
「NTUSER.DAT このファイルは利用されています。
新しい名前を入力するか、または別のプログラムで開かれているファイルを閉じてください。」

上記のメッセージがハイブファイル「NTUSER.DAT」を読み込中にポップアップされた場合は、以下の「Windows で自動ログオン機能を有効にする方法」をお試しください。



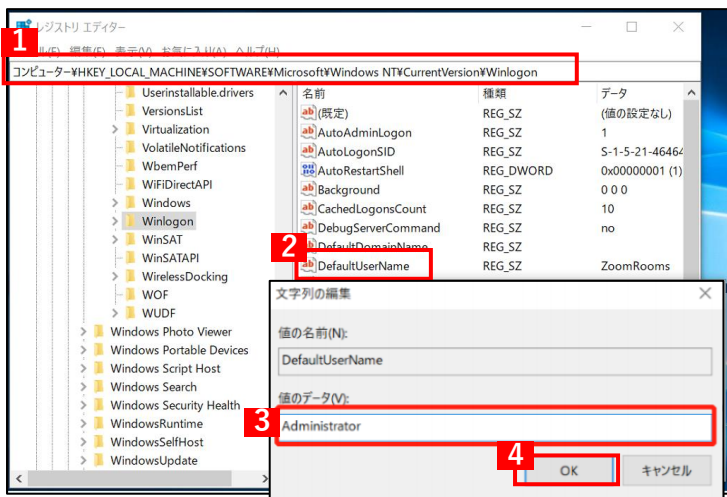
Administratorユーザーアカウントへの自動ログオンを有効化

- レジストリ エディター(regedit.exe)を管理者として実行します。



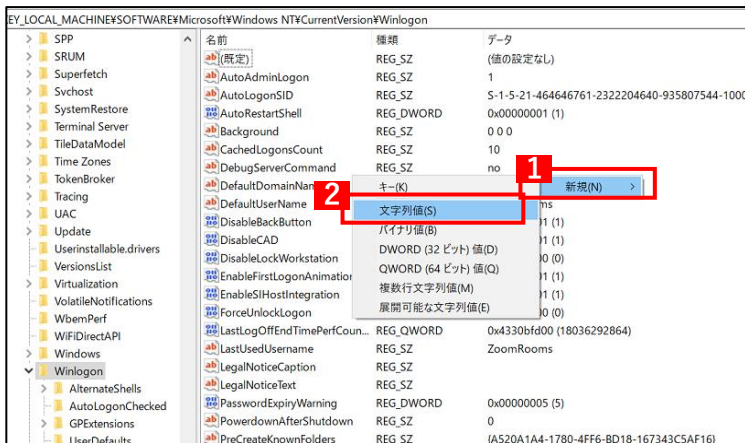
- レジストリ内の次のサブキーに移動します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon

- 「DefaultUserName」をダブルクリックし、「値のデータ」欄に「Administrator」を入力します。

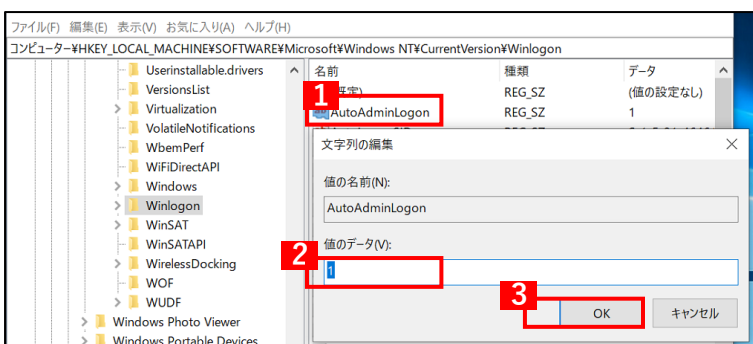


- 「DefaultPassword」という文字列を入力し、Administratorアカウントのパスワードを入力します。

- 空白のところで右クリックし、「新規」をクリックします。
- 「文字列値」を選択します。
- 「新しい値#1」を右クリックし、「名前の変更」を選択して「DefaultPassword」を入力します。
- Administratorアカウントのパスワードを入力して[OK]をクリックします。



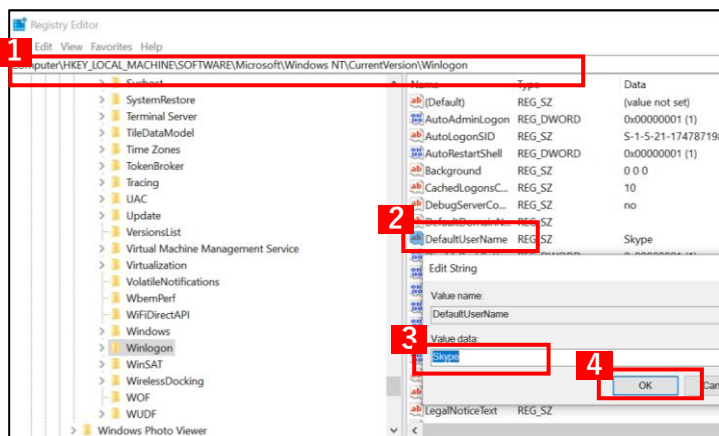
- 「AutoAdminlogon」をダブルクリックし、「値のデータ」を「1」に修正して「OK」をクリックします。



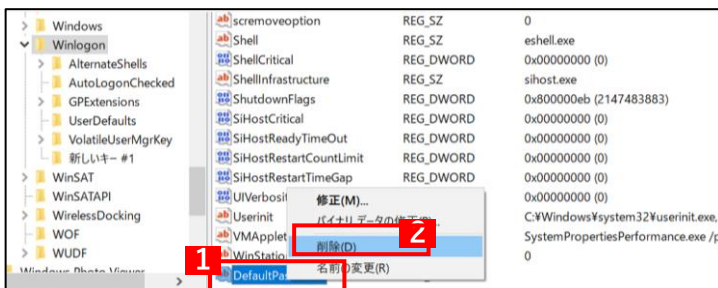
- ThinkSmartを再起動します。

プロキシ設定完了後自動ログオン機能を無効化

- レジストリ内の次のサブキーに移動します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Winlogon
- 「DefaultUserName」をダブルクリックし、「値のデータ」に「Skype」を入力します。



- 「DefaultPassword」を右クリックして削除します。



thanks.

本ドキュメントに記載の内容は2023年4月3日時点のものであり、Microsoft Teams RoomsをプリインストールしたThinkSmart デバイスの利用のための参考資料として公開しています

内容は今後予告なく変更または削除となる場合があります

© 2023 Lenovo Japan LLC. All Rights Reserved.

第1版（2023年4月）

レノボ・ジャパン合同会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX
<https://www.lenovo.com/jp>